

## ① 新たなる挑戦!



### マイナースポーツを通じての地域活性化

#### バブルサッカーを通じての取り組み

バブルサッカーは、2009年ごろにノルウェーで生まれたBUMPERと呼ばれるバブルボールを身に付けてお互いに押し合いながらサッカーをするスポーツ。2014年に入り、日本でも紹介され、東京や大阪などでイベントや大会を開いています。今年の5月に、埼玉で青森県出身の方々にも参加いただき、各地方から若者を集めて2回の大会を実施。延べ600人以上の交流イベントに定着!



#### 弘前市でのバブルサッカーイベントをIMOの会として実施

100人近い参加者でにぎわうことができました。たくさんの方々のご協力、マスコミ関係の皆様にも報道いただき、心より感謝申し上げます。今後も冬季のスポーツとして定着できるようにしていきます。



## 農活に挑戦!

### 岩木山が見える弘前市内の畑を借りて、1年間同世代の仲間と農業に挑戦!

じゃがいもやさつまいも、枝豆、カブ、たまねぎ、ニンニクを中心に挑戦しています。2018年も農活やっていきます!今年りんごもやります!!



## 青森県議会議員 菊池いさお

〒036-8092 青森県弘前市城東北1丁目1-25 トレニアビル1階  
TEL 0172-27-5145 FAX 0172-27-5146  
E-mail kikuchi130.office@gmail.com  
URL <http://aomori130.com/>

いさおの議会日記、県政や県議会へのご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。  
2018.3.31までの記事を掲載しています。

ツイッターとfacebookでも

活動紹介中!!

○ツイッター 菊池いさお (@kikuchi\_isao)  
○Facebook <http://www.facebook.com/aomori130>

日本人らしく、つつましく、節度を保ち、清らかな心の通う人々で賑わうまちを目指したい

# いさおの議会日記 in 青森



定例会会議録、県外調査と  
2017年に挑戦した2つのテーマをご報告

KIKUCHI ISAO  
CONGRESS DIARY

Vol.10

2018春発行

## 2018年の春を迎えて

今年は「平成」という年号が使われる最後の年となります。今年に入り、この30年間の歩みを振り返る機会を頂き歴史の重みを感じてきました。皆様はいかがお過ごしでしょうか? 私は、県議会議員として3年が経過し、いよいよ任期もあと1年となります。県民のために必要な改革を主張し、初心を忘れずに活動してまいります。

世界は日進月歩のように進歩して、激動の時代にある今の世界にふれるにつれて、青森県の可能性も同時に感じる事ができています。例えば、りんごは青森県では担い手が少なく生産量も毎年減ってきていると言われてますが、世界は人口増加し、経済も発展して、ますます食料が足りなくなり、青森県のりんごも世界で重宝されようとしています。だからこそ、今、世界を知り、青森県を未来が開かれる方向へかじ取りをしていかなければなりません。NHKの大河ドラマ「西郷どん」の主演である西郷隆盛の言葉に、

「道を行う者は、固より困厄に逢うものなれば、いかなる難題の地に立つとも、事の成否、身の死生などに少しも関係せぬものなり。もし難題に逢ってこれを凌がんとすれば、いよいよ道を行き、道を楽しむべし。」

(リーダーとして歩もうとする人は、どうしてもいろいろな困難や災難に逢うものだ。だから、どんな大変な目にあっても、事の良し悪し、生死にこだわらず、ことをおこなうべきだ。道を見つけ、これを乗り越えようとしたならば、ますます努力を重ね、それを楽しむことしかない。)

この言葉の通りに、この先も皆様とともに、将来を見据えて、初心を忘れずにどんな険しい道でも歩んでまいりたいと考えております。若輩者ではありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

菊池 勲

きくち いさお

### 菊池 勲 プロフィール

- 昭和56年5月22日生まれ 弘前市出身 A型 双子座
- 弘前市立東小学校・東中学校卒・弘前高校卒(硬式野球部所属)
- ◎東北大学理学部卒 ◎**(公財)松下政経塾27期生(青森県初)**
- ◎ベンチャー企業で経営に従事(現在は社外取締役)
- ◎2011年弘前市議会議員(1期) ◎**2015年青森県議会議員(1期目)**
- ◎無所属会派(青和会) ◎環境厚生委員会 ◎議会改革検討委員会
- ◎広報図書委員会 ◎新幹線・鉄道問題対策特別委員会



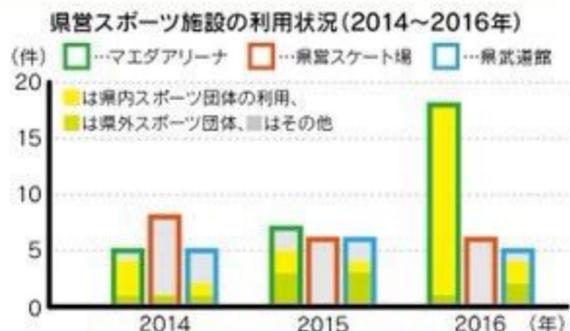
# 定例会一般質問

Regular session general question

## 2017年6月定例会一般質問 県有体育施設の活用状況について

Q1. 県有体育施設における営利使用の状況、そのうちプロスポーツの利用の状況について

A1. 県有体育施設における営利状況は、右のグラフのようになっております。



Q2. プロスポーツを地域活性化に生かすことが重要と考えますが、県の見解について

A2. 県内に拠点を置くプロスポーツチームが全国各地で活躍することにより、本県の知名度向上や郷土愛の醸成、交流人口の拡大による経済への波及効果も含めた地域の活性化に資するものと期待される所です。県としては、他県の取り組み状況も参考にしながら考えてまいりたいと思っております。

## 2018年2月定例会一般質問 企業子宝率について

Q1. 「企業子宝率」とは、合計特殊出生率の企業版ともいえる指標で、男女問わず従業員1人当たりが在勤中に持てる子供の数を算出した値です。すでに他の地域では、これを地元企業のワークライフバランスをはかる指標として活用し始めています。青森県も2年前から導入。子育てについて、青森県「企業子宝率」調査の概要と、調査結果をどのように分析しているのかについて

A1. 本県の調査の概要と結果は、表1と表2のようになっております。こうした結果は、子育てにやさしい職場環境には、福利厚生制度の充実だけでなく、それを活用しやすくするベースとして、子育て中の従業員に対する職場の理解やお互いさまの気持が重要だということを示唆するものとなっております。

仕事と子育ての両立では何が重要か(複数回答)【表1】

項目	回答企業数	回答割合
職場の管理監督者・同僚の理解	282	76.6%
年次有給休暇を取りやすく	184	50.0%
育児休暇制度を利用しやすく	147	39.9%
時間外勤務(残業)を少なく	131	35.6%
子どもの看護休暇を取りやすく	108	29.3%
短時間勤務を取りやすく	82	22.3%
出勤・退社時間を柔軟に	71	19.3%
正社員のみ雇用制度	66	17.9%
社内保育施設	41	11.1%
経済的支援	17	4.6%
就業継続しやすいような在宅勤務	4	1.1%
その他	9	2.4%

子どもを持つ従業員への経済的支援【表2】

支援の有無	回答企業数	平均企業子宝率
あり	216	1.3
なし	144	1.22



## 2018年2月定例会一般質問 企業立地戦略について

Q1. 「企業誘致」による経済市場の活性化と生産年齢人口の受け入れ環境づくりを、県が主体的にかかわりながら、今後、どのように取り組んでいくのか。

A1. 新たな産業の波であり第四次産業革命に対応するため、青森県IoTビジネス推進宣言を行い、県内企業への普及や活用を推進、ネットワーク構築の支援を進めているほか、戦略的な企業誘致や中小企業の前向きな取り組みに対する金融支援の強化などにも積極的に取り組んでおります。今年度からは、情報処理サービスやソフトウェア・コンテンツ開発、映像制作などを行います情報システム・クリエイティブ産業をターゲットとした誘致活動を重点的に行っており、今年度、既に携帯電話向けゲームソフトの企画・制作会社等2社の立地が実現いたしましたほか、県内で新たにコンピューターグラフィック事業を行う首都圏企業と立地に向けた折衝を続けておるところでございます。この分野は、IoTやAI技術の進展に伴い、さらなる市場拡大が見込まれており、今後とも、新しい時代に即した多様な産業分野の立地を促進し、若者にとりまして魅力のある雇用の創出と県内定着を進めてまいります。



### 誘致ターゲット産業4分野



**成長ものづくり関連産業**  
今後高い成長が期待される分野。産業用ロボット、輸送用機械、医療・健康・福祉機器等の部品設計・製造などの企業立地を促進。



**農林水産関連産業**  
県産品に左右されにくく一定の立地が見込まれる分野。食品加工や木材加工施設、バイオマス関連施設等の立地を促進。



**情報・クリエイティブ関連産業**  
環境に左右されず、雇用の場の創出効果が高い分野。コンタクトセンターや情報・クリエイティブ関連会社などオフィス系企業の立地を促進。



**物産流通産業**  
本県の産業を支える物流機能の強化を計る補完的機関。物流の高度化につながる物流関連企業の立地を促進。

# 会派での調査研究事業

Research

## 八甲田登山道・十和田湖調査

2017年7月

- 登山者が年々増える八甲田山、八甲田登山道を上り、登山道及び避難小屋についての老朽化調査や登山道の安全対策について会派として調査。
- 十和田湖を中心とするエリアが国の満喫プロジェクトに指定をされて「十和田湖の利用・活用」が大きなテーマになっている。十和田湖の現状について聞き取り。
- 調査後、会派と県の担当者との話し合いを行い、課題や対策への申し入れ。



## 群馬県子育て支援事業・新潟県スポーツ施設調査

- 群馬県の「子ども医療費助成事業」(中学生までの医療費無料化)について
- 群馬県の「結婚応援/スポーツ事業」について
- 新潟県の「移住・定住促進事業」について
- 新潟県の「新潟県健康づくり・スポーツ医学センター」について

## ニュージーランドへのりんご調査

2018年1月21日~28日

- ネピアのりんご産地調査「ターナーズ&グローブズ社」約43万トンのりんご生産量。(青森県生産量約45万トン)輸出量はそのうち35万トン。(青森県輸出量3万トン)。ニュージーランドの輸出国は約90か国、そして輸出金額が648億円。
- オークランド日本総領事館、JETROの訪問。日本とニュージーランドの今後の可能性について、現地にいる日本人関係者とのヒアリングを行った。特に今後の交流や貿易について活発な意見交換を行った。



## 2018年度 環境厚生委員会に配属

- 取組テーマ ①白神山地を始めとする森林環境について
- ②岩木川や平川を中心とした河川環境について
- ③中核病院や救急などをテーマにした医療
- ④子どもから高齢者や介護環境などの福祉について

1年間かけて課題に取り組んでまいります。



# 1年間の主な活動を報告

Report the main activities of the year

白神山地を始めとする森林環境について岩木川や平川を中心とした河川環境について中核病院や救急などをテーマにした医療子どもから高齢者や介護環境などの福祉について1年間かけて課題に取り組んでまいります。

<p>2017年2月</p> <p>菊池副知事タウンミーティング</p> <p>議会報告会開催</p> <p>年間100回以上行っている、昨年もたくさんの方に参加いただき、今年は昨年以上にパワーアップさせていきます。</p>	<p>2017年3月</p> <p>後援会総会開催</p> <p>後援会の総会の場を借りて、決意と今後の抱負について語る会になりました。</p>	<p>2017年4月</p> <p>若手議員の会 in 弘前</p> <p>地方議員の若手の仲間で開催する「わらしら」を弘前で開催。弘前の魅力を余すことなく調査をしていただきました。</p>	<p>2017年8月</p> <p>県議会野球大会</p> <p>県議会議員の全国野球大会が開催され弘前にユニフォームを着て参加しました。</p>	<p>2017年11月</p> <p>ミクロネシア連邦</p> <p>ミクロネシア独立記念日のイベントに参加いたしました。森から日本文化や日本について理解のある国でもあります。</p>	<p>2017年12月</p> <p>クリスマス会</p> <p>町会活動でサンタクロースに变身。子供たちが笑顔いっぱいの町会を創ってほしいものです。</p>
--	--	---	---	--	---